

# 津波・洪水浸水想定住民説明会

## ●第1回

日 時：平成 29 年 3 月 18 日（土）14:00～

場 所：花川北コミュニティセンター

説明内容：津波浸水想定、洪水浸水想定

参加者数：200 名

質疑応答

### 【津波】

Q-1 地震の影響による液状化で、川の堤防などが壊れて津波の遡上に耐えられないのではないかと？

A-1 川の堤防については、地震による液状化の技術的評価がされていませんが、今想定における計算条件の設定として、堤防を含めた各種構造物の取扱いが国（国土交通省）から示されており、それに基づき、堤防の高さも低減を加えた上で検討されています。

Q-2 今後、市として防潮堤を作る予定はあるのか？

A-2 市としてそのような計画はありません。

Q-3 新港では第1波が最大津波なのか？

A-3 地震発生から約 220 分後の第3波が最大津波となります。

Q-4 樽川などの市街地まで津波はくるのか？

A-4 今回の浸水想定では、石狩湾新港にある海岸砂丘で津波がほとんどブロックされるので、樽川などの市街地まで津波はこない想定となっています。

Q-5 津波発生時の海面についてはどのような想定となっているのか？

A-5 北海道からは期望平均満潮位で想定がされていると聞いています。

Q-6 新港地域には LNG タンクなど危険な施設があるので、その対策などについてはどうか？

A-6 新港企業にも今回と同様の説明を行っており、その中で各企業において対策が図られていくものだと考えています。

### 【洪水】

Q-7 溢水、越水の違いは？

A-7 堤防がない場所で川が溢れるのが「溢水」、堤防がある場所で川が溢れるのが「越水」です。

Q-8 図では、花川北地域は凡例が重なって確認できないが、浸水しないという認識でいいのか？

A-8 凡例にかぶっている場所は浸水しないと思っていただいて結構です。

Q-9 ここ近年、温暖化の影響などで異常な天候が続いているが、今回の想定はどのような雨量データに基づいて発表されているのか？

A-9 過去の雨量データ（昭和 1 年～平成 26 年まで）をターゲットとして検証されていると聞いています。このことから想定外というよりも現実的なデータを基にしているといえます。

### 【その他】

Q-10 津波・洪水対策として、各地の標高がわかるように看板などを設置してほしい

A-10 来年度作成する防災ガイドには各地点の標高などを入れ込む方向で検討していきます。

## ●第2回

日 時：平成 29 年 3 月 21 日（火）18:30～

場 所：望来コミュニティセンター

説明内容：津波浸水想定、洪水浸水想定、土砂災害

参加者数：14 名

質疑応答

### 【津波】

Q-1 望来川と正利冠川の橋は渡れるのか？

A-1 寸断する可能性はあります。これから防災ガイドを作成するときに、今回の想定を基に避難経路などを地域ごとで決めていきます。

Q-2 現在の防災ガイドでは、避難方向が海に向かっていている経路があるが

A-2 以前の浸水想定では安全であった避難経路も、今回の新しい想定により危険な場所となっている経路もあることから、新しく作成する防災ガイドでは、それらを含めて地域の方々のご意見を聞きながら見直しを行っていきたいと考えています。

### 【洪水】

Q-3 各河川の平常時の水位を防災ガイドで示していただきたい

A-3 防災ガイド作成時の参考とさせていただきます。

Q-4 石狩川・豊平川・当別川の3つの河川が同時に重なって洪水が起きると想定しているのか？

A-4 それぞれの最大値で計算しているので、重ねるといよりもそれぞれの河川単体で考えていただきたいと思います。

## ●第3回

日 時：平成 29 年 3 月 22 日（水）18:30～

場 所：浜益コミュニティセンター

説明内容：津波浸水想定、洪水浸水想定

参加者数：20 名

質疑応答

### 【津波】

Q-1 想定している地震の規模は？

A-1 FO1 断層では M7.9、FO6・FO6' 断層では M7.6 と聞いています。

Q-2 平成 29 年度に新しい防災ガイドを作成するため各地域で話し合いを行うと説明していたが、その話し合いの場では今回のシミュレーション動画は流すのか？

A-2 シミュレーション動画を流したほうがよりイメージしやすいと思いますので、時間が許す限り流していきたいと考えています。

## ●第4回

日 時：平成 29 年 3 月 23 日（木）18:30～

場 所：厚田保健センター

説明内容：津波浸水想定、洪水浸水想定、土砂災害

参加者数：20 名

質疑応答

【土砂】

Q-1 林道に対しての土砂災害対策は？

A-1 林道については、植林などを行っており、土砂災害が起こりにくい環境整備に努めています。

## ●第5回

日 時：平成 29 年 3 月 27 日（月）18:30～

場 所：虹が原会館

説明内容：津波浸水想定、洪水浸水想定

参加者数：20 名

質疑応答

【津波】

Q-1 石狩河口橋には影響は及ばないのか？また、道路寸断によりこの地域は孤立しないのか？

A-1 国や北海道からは構造物としての影響は心配されていません。ただ、道路の寸断により孤立する可能性はあり、公助がすぐに期待できない場合も考えられるため、新しい防災ガイドを作成していく中で、自助・共助を意識しながら少しでも減災に役立つガイドを作成できるようにしていきたいと考えています。

Q-2 聚富川、知津狩川の橋は津波で壊れたりしないのか？

A-2 北海道では、そこまでの検証はしていないと思いますが、今後、それらを含めた専門的なことを北海道に確認をしていかななくてはいけないと考えています。

【その他】

Q-1 緑ヶ原と虹が原は同じ地区なのに避難所が別になっているので、避難所を統一できないのか？

A-1 新しい防災ガイド作成の議論の中で検討していきたいと思っています。